

# 市民ランナー650人が健脚競う 地球村一周マラソン大会



一斉にスタートする10kmの部の参加者



5kmの部(男子・39歳以下)を制した原田さん



力強く選手宣誓する高橋さん親子



完走を喜ぶ子どもたち



自然に囲まれたコースで力走

つがる地球村で10月12日、第11回つがる地球村一周マラソン大会が開催され、県内外から参加した約650人の市民ランナーが自慢の健脚を競い合いました。

大会は個人の部3km、5km、10km、ファミリーの部1.5kmに分かれて行われ、参加者は秋風を受けながら、木々が色づき始めたコースを軽快に走りしました。秋田市から参加した最高齢の渡邊清捷さん(76)は「さまざまな施設や豊かな自然の眺めを楽しみながら気持ちよく走れた」と完走を喜んでいました。

競技後、選手たちは温かい豚汁の振る舞いとつがる地球村の温泉で疲れた体を癒していました。

## 大会結果

10 km				
高校・一般男子 (39歳以下)				
順位	氏名	住所	タイム	
1	市川 友昭	五所川原市	36分38秒	
2	中田 大介	弘前市	39分07秒	
3	吉田 匡克	つがる市	39分15秒	
一般男子 (40歳以上)				
1	館下 賢二	弘前市	35分27秒	
2	奈良 道明	弘前市	37分20秒	
3	小泉 洋	青森市	37分52秒	
高校・一般女子 (39歳以下)				
1	齋藤 美香	青森市	40分01秒	
2	齋藤 玲子	青森市	41分37秒	
3	刈田祐希子	五所川原市	48分45秒	
一般女子 (40歳以上)				
1	神 ゆかり	鱒ヶ沢町	44分22秒	
2	長谷川雅子	青森市	44分58秒	
3	千葉 美紀	青森市	45分27秒	

5 km				
高校・一般男子 (39歳以下)				
順位	氏名	住所	タイム	
1	原田 宗市	黒石市	15分32秒	
2	五十嵐斐郷	青森市	16分10秒	
3	斉藤 英樹	青森市	16分36秒	
一般男子 (40歳以上)				
1	和田 靖	横須賀市	16分12秒	
2	斎藤 大祐	弘前市	17分22秒	
3	工藤 貴寛	鶴田町	17分39秒	
高校・一般女子 (39歳以下)				
1	築館あゆみ	弘前市	20分36秒	
2	大橋 優子	十和田市	21分35秒	
3	齋藤ゆかり	弘前市	22分07秒	
一般女子 (40歳以上)				
1	川越 七重	つがる市	19分56秒	
2	敦賀奈津子	青森市	20分07秒	
3	藤田 綾子	青森市	21分43秒	

3 km				
中学校男子				
順位	氏名	住所	タイム	
1	石岡 凜	弘前市	09分38秒	
2	敦賀 優雅	青森市	09分42秒	
3	宮崎 翔	鱒ヶ沢町	10分13秒	
中学校女子				
1	楠美はるか	五所川原市	10分58秒	
2	布施日女花	青森市	10分59秒	
3	木村 圭那	弘前市	10分59秒	
小学4年生以上男子				
1	島 航平	青森市	10分57秒	
2	川口 泰知	鱒ヶ沢町	10分59秒	
3	穴田裕一朗	青森市	11分08秒	
小学4年生以上女子				
1	野田頭咲樹	東北町	11分17秒	
2	清野 愛里	弘前市	11分35秒	
3	石岡 葉久	弘前市	11分58秒	
一般男子 (60歳以上)				
1	花岡 正美	平川市	12分00秒	
2	佐藤 治	八戸市	12分06秒	
3	柳沢 博明	弘前市	12分09秒	



神事で鍬入れを行う福島市長

## 車力地区統合小学校新校舎着工

車力地区の牛潟、車力、富苑の3小学校を統合する小学校の建設工事安全祈願祭が9月28日、建設予定地の車力中学校敷地で行われました。統合小学校は、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建て（一部2階建て）で、建設費16億5300万円、延べ床面積5340平方メートル。冬期間の運動不足解消のため、ランニングコースやクライミングウォールを設置します。また将来の小中一貫教育導入を見据え、中学校校舎と渡り廊下で連結。平成29年4月に開校予定です。安全祈願祭では、市や工事関係者約80人が出席。福島市長は「地域と学校が一体となって将来を担う児童の教育や生涯学習の場として活用していただきたい」と期待を込めていました。

## りんご一枝オーナーが収穫体験

つがるにしきた農協（三上純一組合長）が主催する「りんご一枝オーナー収穫体験ツアー」が10月16日から2泊3日の日程で行われ、東京都、千葉県などから抽選で選ばれた22人が柏地区のりんご畑で収穫に挑戦しました。16日、一行が園地に到着すると、園主の荒谷隆志さんが「厳しい自然の中でおいしいりんごに仕上がりました」と歓迎のあいさつ。参加者は食べ頃に熟した「シナノスイート」を選び、収穫後は「トキ」や「紅玉」など、りんご4種の試食を楽しみました。千葉県から参加した松沢理子さんは「たわわに実ったりんごの眺めは素晴らしい。首都圏でも『つがる市産』を買いたいので、もっとPRしてほしい」と話していました。



りんごの収穫を楽しむ参加者



平川会長(右)から表彰を受ける受賞者

## 地域福祉の充実を図る つがる市社会福祉大会

「ひとり一人を大切にした福祉のまちづくり」をテーマに10月11日、松の館で「第11回つがる市社会福祉大会」が開催され、市民ら約300人が参加しました。

大会では、「福祉の作文」で選ばれた市内の小中学生6人が、相手を思いやる気持ちや家族で支え合うことの大切さなど、自身の体験から学び感じたことを堂々と発表しました。

主催者の市社会福祉協議会・平川満昭会長は「関係機関が連携を密にし、社会情勢の変化や多様化する住民ニーズに応じた地域福祉活動の充実を図ります」とあいさつ。続いて地域の福祉向上などに貢献した30人、11団体に表彰状や感謝状を贈呈しました。

## 園児たちが交流の輪広める

第21回西北五地区こども赤十字交流会が10月2日、森田体育センターで行われ、こども赤十字に加盟する西北五地区の幼稚園・保育園の園児ら約100人がゲームや踊りなどを通して交流を深めました。

交流会には市内から菰槌保育園、いなほ保育園、しげた保育園の年長児が参加。園児らは綱引きや玉入れ、人形を担架に乗せて2人1組で走る赤十字リレーなどを楽しみながら交流の輪を広げていました。

じゃんけんゲームで最後まで勝ち残った菰槌保育園の浜山響くん(6)は「お友達がたくさんできて、とても楽しかった」と喜んでいました。



じゃんけんゲームを楽しむ園児

## 小さい頃から読書する習慣を

十和田市出身の作家高橋弘希さんが10月10日、松の館で「子どもに楽しい読書体験を！」と題して講演を行い、市民ら約100人が熱心に耳を傾けました。

高橋さんは昨年、デビュー作の「指の骨」で新潮新人賞を受賞。同作と第2作の「朝顔の日」で2年連続芥川賞候補にノミネートされました。

この日は、県教育委員会主催の子ども読書活動推進大会の講師として登壇。高橋さんは「小さい頃から本を読む習慣をつけてあげることが重要」「楽しく読書を始めさせるために『短い』『読みやすい』『面白い』の3点で選んだ本を勧めてほしい」と話していました。



読書の重要性を講演する高橋さん



お気に入りの絵本を探す子どもたち

## 読書の楽しさに触れる つがる市読書まつり

10月3日、地域における読書活動を推進する「つがる市読書まつり」が松の館で開催され、親子連れなど多くの市民らが読書の楽しさに触れました。

まつりでは、盛岡市内の保育園などで「歌のおじさん」として活動している佐々木章さんが、ギターの弾き語りでも物語の読み聞かせを上演。子どもたちは「歌に合わせて聞く絵本」を楽しんでいました。また、市読書推進連絡会の会員がパネルを使った絵本の読み聞かせや津軽弁での昔話を披露。会場の一角には閉館となった公民館や市内図書館の廃棄本を無料配布するコーナーも設けられ、来場者はお気に入りの一冊を探し求めています。

## 太宰の世界観に浸る 太宰治フェスタ・木造

NPO法人つがる野文庫の会（平川智枝子理事長）が主催する「太宰治フェスタ・木造」が9月26日、27日、JR木造駅を主会場に行われました。

太宰の父・津島源右衛門は旧木造町出身。小説「津軽」の中で太宰は父の生地・木造を訪れ、ポプラ並木や商店街のアーケード通りを散策しています。イベントはこの記述にちなんで行われ、市民ら約60人が作品朗読やパネル展、前述「津軽」での足跡をたどるウォーキングなどで太宰の世界観に浸りました。弘前医療福祉大の齋藤三千政教授は「太宰治を追いかけて」と題して講演。太宰の作品の魅力や人間味あふれる私生活の様子などを紹介しました。



太宰文学の魅力を紹介する齋藤教授(左)



懐かしい歌を披露する参加者

## 懐かしい歌とトークを楽しむ

9月30日、「懐かしい歌&トーク」が稲垣公民館で開催され、稲車こころ塾の会員など約50人が懐かしいメロディや楽しいトークなどを楽しんでいました。

これは公民館事業の一環として行われたもので、「有志・歌の会」のメンバーが「チャンキキおけさ」「川の流れるように」「津軽平野」などの古き良き名曲を披露。来場者は自慢の歌声に耳を傾けていました。また三戸富廣さんによる楽しいトークショーやつがる市に関するクイズ大会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。最後に、会場にいる全員で「青山脈」を合唱し、気持ちを一つにして歌声を響かせていました。